

事例 4

姿勢保持・変換機構付きトイレ用キャリー

筋萎縮性側索硬化症による姿勢障害のある人に対し製作したものです。

トイレの便座では、座位姿勢を確保するのが難しく、既製品のものでは、姿勢保持・変換機構と自宅のトイレ、医療機関（レスパイト入院時）のトイレ環境に適した機種がないため製作しました。姿勢変換は、前方から介護者がレバー操作で行えるように設計してあります。



リクライニング機構



便座上への移動